

※エコキュートを初めてご使用になる場合など

方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。
当社修理窓口にご依頼いただくことも可能です。（有料）

※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。

※タンク内の水が1ヵ月以上ご使用されていなかった場合

貯湯ユニットの水を入れ替える必要があります。
取扱説明書に従い貯湯ユニット内の水を一度排水して下さい。

※新入居時など、タンクが満水かどうか知りたい場合

給水配管専用止水栓を開き、逃し弁のレバーを手前に起こしたり戻したりして、排水口から多量の水が出るか確認してください。

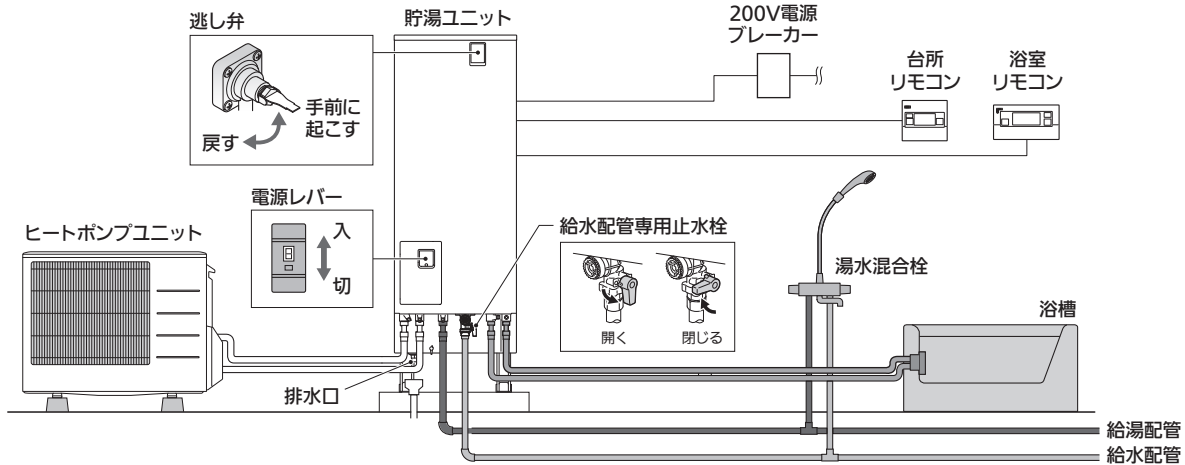
※ご使用される機器により操作方法が異なります。
詳しくは、ご使用される機器の取扱説明書をご覧ください。

暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

www.mitsubishielectric.co.jp/wink



タンクへの給水方法



- お願い
- 給水配管専用止水栓が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。
 - 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行ってください。

1 次のことを確認する

- 200V電源ブレーカー：「切」
- 貯湯ユニットの電源レバー：「切」
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水抜き栓、排水栓、給水ストレーナー：「閉」
- すべての蛇口（湯水混合栓）：「閉」

お願い ●満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。
故障の原因となります。

2 機器を満水にする

- 逃し弁のレバーを手前に起こす
- 給水配管専用止水栓を開き、貯湯ユニットへ給水する
 - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
- 貯湯ユニットの排水口から水が出ると満水の合図です
満水までの目安：約30分（コンパクトタイプは約10分）
 - 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
 - 水がタンクに入らない場合は、次の手順で電源を入れ直してください。
 - 200V電源ブレーカーと電源レバーを「入」にする
 - 約30秒後、電源レバーと200V電源ブレーカーを「切」にする
- 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す

3 満水を確認後、電源を入れる

- 200V電源ブレーカーを「入」にする
- 電源レバーを上げ、「入」にする
 - 電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。
 - お湯の増加とともに残湯量表示が増加します。
最初は「残湯なし」が表示されます。

リモコン
残湯量表示



タンクが満水でも温度が45℃未満の場合は「残湯なし」が表示されます。
45℃以上になると残湯量（目安）が表示されます。

4 機器のエア抜き運転をする

- 台所リモコンの選択スイッチ
「▲」「▼」を同時に3秒以上押す



- エア抜き運転中は、台所リモコンに「エア抜き」が表示されます。約10分後に自動で停止します。
- タンクが満水になる前にエア抜きをすると、30分程度かかる場合があります。
- 同手順（「▲」「▼」同時3秒押し）で、エア抜きを終了できます。
- 初期のみ、電源を入れる（3項）と、自動でエア抜きします。

- エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす
（1分後、レバーを戻す）

5 リモコンの日時を確認する

- 他の設定も工場出荷時に戻っていることがありますので、確認してください。
- 初めてご使用の場合は電力契約モードを確認して、ご契約の内容に合わせてください。

6 お湯を使う

- 約8時間（コンパクトタイプは約4時間）で満タンまでわき上がります。
- 湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にして給湯を開始し、適温に調整してください。（やけど防止）



使いはじめは、しばらくお湯に触れない（やけどの原因）
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散ることがあります。